かわら版　事務所通信　VOL-184（2025/06）
編集責任者：佐藤寿志　0100

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

東京商工リサーチによると、2024 年に北海道では 4, 907 社が新設法人として設立されました。これは 08 年の統計開始以来、過去最多のようです。政府や金融機関がスタートアップを支援している事が要因のようです‥。

産業別では卸売業がトップ（21.4％増）で次に不動産業（10.9％増）、サービス業（8.5％増）と続きます。

一方、ちょっと古いデータになりますが「中小企業白書・小規模企業白書（中小企業庁 2017 年版）」によると創業から 3～5 年間の期間で生き残っているのは全体の 40～60%とのデータがあります。つまり、5 年内には約半分の会社が事業継続が困難になっているのです。

なぜ、多くのスタートアップ企業が早々に事業継続が困難になるのでしょうか？今月は「失敗しない企業経営」を皆様と共有したいと思います。

いつの時代も同じ

皆さんもよく聞く言葉だと思いますが古くから経営資源として 4 つの要素が重要と言われています。ご存じの通り「ヒト・モノ・カネ・情報」です。

「ヒト」は人材や組織、「モノ」は PC 等の事務機器、車両や在庫など、「カネ」はもちろん資金、「情報」は新しい情報・技術やノウハウのことです。

冒頭で触れましたが、「スタートアップ企業がなぜ早々に事業継続が困難になるのでしょうか？」の答えは 4 つの経営資源のアンバランスが原因なのではないでしょうか‥。

しかし、中小企業にとって 4 つの経営資源のすべてが不十分なのは当たり前です。どの経営資源をどのように充足させるかを「戦略的」に考える必要があります。私は日頃からお客様には、営業活動（顧客の創造）は最低条件で「経営者は常に頭を使って戦略を考えるのが大切な仕事です」とお話ししています。

それで良いの？

ちょっと気になっているのが北海道の新設法人のトップが「卸売業」という点です。東京商工リサーチ福岡支社のデータでも九州・沖縄地区の新設法人でも卸売業（21.6％増）がトップになっています。円安だから輸出入業に参入する企業が増えた事が要因です。

一方、全国的には建設業（13.75％減）、輸送業（4.21％減）、情報通信業（4.28％減）、製造業（特に印刷業 31.8%減）の減少が目立ちます。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町３条１丁目１番１号
TEL（011）699-5925

スタートアップ企業が早期に事業撤退する理由の一つにはいわゆる「流行りもの」で参入する事が原因なのでしょう・・。また、私たちの生活に密接な関係がある建設業、輸送業、製造業の減少は将来的に不安が残ります。

マイクロ法人の増加

東京商工リサーチの全国版でも2024年度は全国的にも新設法人の設立が過去最高を更新したと報じています。業種的にはインバウンド需要による宿泊業(33.4%増)の伸びが顕著です。法人名では「アシスト」が最も多く、ナンバーワンやオンリーワンを連想させる「ONE」、つながりを大切にするイメージの「LINK」が多かったようです。

一方、法人格別では株式会社(0.6%減)が減り、合同会社(3.5%増)、一般社団(3.3%増)が増加しています。マイクロ法人(小さな規模)がお金をかけず法人格を取得し創業するケースが多そうです・・。

また、不動産業、宿泊業、卸売業(輸出・輸入)が増加傾向なのは外国人が自国民の来日インバウンドニーズをターゲットにしたり、経営者自身(「経営・管理ビザ(在留資格の取得)」のためなのかも知れません。いずれにしても・・将来的な問題発生の不安がよぎります。最近、当事務所の向かいの家が民泊となり外国人が大きなスーツケースを引きずって歩いている光景をたまに見ます(ゴミは散乱していません・・)。

経済効果を考えると・・

マイクロ法人、外国人経営者の増加が将来的な経済効果(雇用の拡大、税収アップ)に繋がるかは疑問です。

泥臭い話ですがヒト(雇用の安定)、モノ(国内消費の拡大)、カネ(お金の流れをつくる)、情報(企業間が共に成長するために必要な)を自社に集める必要があります。

私は経営者の皆様は「従業員を雇用」し、「商品やサービスを世の中に提供」し、「納税を通して社会に貢献」していると思っています。とても大切な役割です。

総務省のデータによると人口比でいうと経営者は 30 人のうち 1 人の割合です。また、従業員を 5 名以上雇用している会社は 7 社に 1 社のようです。

計算すると何気ない日常の中にいる 200 人のうち 1 人が 5 名以上を雇用している規模感のある会社の経営者なのです。経営者の皆様の日ごろ、如何に企業努力されているかがご理解頂けたでしょうか・・。

人間である以上、頭を使って働け

(本田宗一郎　本田技研創業者)

編集後記：

最近、町内会長を任せられたので何気なく道端の雑草が目に止まります。町内の雑草に対しての「少数の方」からのクレームで頭が痛いからでしょう・・。また、車に乗っていてもあちらこちらの交通安全の旗が痛んでいないかが気になります。今まで見えていても意識していなかったモノが気になるという事は当事者意識を持ったからなのでしょう。

「誰かがするのだからクレームだけ言っておけ」ではなく少しでも多くの人が当事者意識をもって自主的に行動すれば会社も社会も良くなるに違いありません・・(寿)。